

新潟MaaS検討推進プロジェクト（新潟県 新潟市）

【新潟市、新潟交通、新潟交通観光バス、にいがたレンタサイクル、日本ユニシス】

◆地域の課題

- 自家用車への依存率が高く、都心部の交通集中によるアクセス支障改善
- バス事業者を始めとする公共交通事業者の事業採算性の低さ
- 単一モーダルにおける公共交通利便性の限界
- 免許返納後の高齢者、自家用車非保有者への移動手段確保

- ☑ 複数移動手段活用時の利便性
- ☑ 公共交通・道路の混雑
- ☐ ラストマイルの移動手段不足
- ☑ 高齢者等の移動弱者の増加

METI「新しいモビリティサービスの活性化に向けて」より引用

◆将来構想の概要

- 2020年度より、複数交通モードでの定額制および生活サービスとの連携した形のMaaSサービス（スモール営業）を開始。
- 2022年度オンデマンドバスの本格営業開始。
- 収集データを分析し、関係者とともに共有し、議論を重ね、新潟市にとってふさわしいMaaSの考え方をとりまとめる。

◆実証実験の概要

- スマホ向けMaaSアプリの構築及び実証
 - 地域ICカード「りゅーと」をアプリ化
 - 乗り放題（バス、レンタサイクル、デマンドバス）+ 都心部商業施設のクーポン
- オンデマンド交通の実証運行(マイクロトランジット) 新潟市中心市街地で実施

- ☐ カーシェア
- ☑ デマンド交通
- ☑ マルチモーダルサービス
- ☐ 自動走行車の活用
- ☐ 貨客混載
- ☐ ラストマイル配送無人化
- ☑ 移動サービスと周辺サービスの連携

METI「IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会」中間整理」より引用

◆対象地域

- マルチモーダルサービスの試験運用については、新潟交通の乗合バス全域・区バス全域新潟市中心市街地が対象
- オンデマンドバスの実証運行については新潟市中心市街地が対象



出所) 新潟交通株式会社webサイト

◆サービスモデル

- 地域ICカード「りゅーと」をアプリ化してMaaS機能を搭載し都心部の回遊性を向上。商業施設と連携してクーポン等を配布することで公共交通利用の促進を図る

